震災復興 進もう！次の東北へ

記者発表資料

令和8年度
三陸国道事務所の事業概要について

令和８年度 東北地方整備局 三陸国道事務所管内の事業概要をお知らせします。

令和8年 4月 8日

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

発表記者会：岩手県政記者クラブ、久慈報道機関各社、宮古記者クラブ、東北建設専門紙記者会

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 代表電話（0193）62－1711

副所長（改築） 深渡（ふかわたり） 義哲（よしあき） （内線 204）

副所長（管理） 寺山（てらやま） 雄大（ゆうだい） （内線 205）

令和8年度 三陸国道事務所 事業箇所図



1. 令和8年度（2026年度）当初予算の概要

三陸国道事務所の令和8年度当初予算は下表のとおりとなっています。

「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「個性をいかした地域づくりと持続可能で活力ある国づくり」を3本柱として、令和7年度補正予算と合わせて、切れ目なく取組を進め、施策効果の早期発現を図ります。

（単位：百万円）

事務所	区　分	令和8年度 当初予算	令和7年度 補正予算	令和7年度 当初予算
三陸国道	国土交通省計上分	3,957	**660**	**3,353**

※当初予算額は、事業費を示す。
※事業費は、業務取扱費、維持管理費、交通安全事業（Ⅱ種）を除く。

2. 主な事業の概要

【新規事業箇所】

事業区分		事　業　名	市町村名	完成予定・開通目標年度	R8事業費（百万円）	R8主な事業内容
道路	直轄	国道４５号　佐原（さばら）地区電線共同溝	宮古（みやこ）市	—	20	調査設計

【継続事業箇所】

事業区分		事　業　名	市町村名	完成予定・開通目標年度	R8事業費（百万円）	R8主な事業内容
道路	直轄	国道４５号　山田（やまだ）改良	山田（やまだ）町	—	190	調査設計、用地買収、改良工事
道路	直轄	国道４５号　三陸沿岸道路（侍浜（さむらいはま）～階上（はしかみ））	青森県三戸（さんのへ）郡階上（はしかみ）町～岩手県久慈（くじ）市	—	870	調査設計、支障物移転、改良・橋梁工事
道路	直轄	国道１０６号　田鎖蟇目（たくさりひきめ）道路	宮古（みやこ）市	—	1,570	調査設計、用地買収、支障物移転、改良・橋梁工事
道路	直轄	国道１０６号　箱石達曽部（はこいしたっそべ）道路	宮古（みやこ）市	—	500	調査設計、用地買収
道路	直轄	国道４５号　神林（かんばやし）地区電線共同溝	宮古（みやこ）市	—	327	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）
道路	直轄	国道４５号　磯鶏（そけい）地区電線共同溝	宮古（みやこ）市	—	95	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）
道路	直轄	国道４５号　石崎（いしざき）地区電線共同溝	宮古（みやこ）市	—	55	調査設計、本体工事（引込連系管路工事等含む）
道路	直轄	国道４５号　岩手４５号交通安全対策（高浜（たかはま）歩道・自転車通行空間整備）	宮古（みやこ）市	—	60	調査設計
道路	直轄	国道４５号　岩手４５号交通安全対策（力持（ちからもち）交差点改良）	普代（ふだい）村	—	60	調査設計
道路	直轄	国道４５号　岩手４５号交通安全対策（下安家（しもあっか）地区歩道整備）	野田（のだ）村	—	210	調査設計、用地買収、改良工事

国道45号　山田（やまだ）改良

R8：190百万円

継続	岩手県下閉伊郡山田町（しもへいぐんやまだまち）	道路	直轄

【事業の概要】
　国道45号の防災上の隘路を回避するため、三陸沿岸道路の山田北ICに、北方向の乗り降りを整備することにより、災害時の道路ネットワーク機能の確保を目的とした事業です。



【整備効果】
　防災上の隘路を抜本的に回避し、災害時においても救急搬送ルートを確保します。







▲山田改良の整備状況

【令和8年度の事業内容】
　調査設計、用地買収、改良工事を実施します。

国道45号　三陸沿岸道路（侍浜～階上）

R8：870百万円
（岩手県分）

継続	青森県三戸郡階上町～岩手県久慈市	道路	直轄

【事業の概要】
三陸沿岸道路（侍浜～階上）は、八戸・久慈自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を支援し、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。





▲洋野種市ICの周辺状況

【整備効果】
○防災拠点への迅速な支援ルートが確保され、津波災害時の備蓄・支援物資供給活動及び、災害医療活動を支援します。

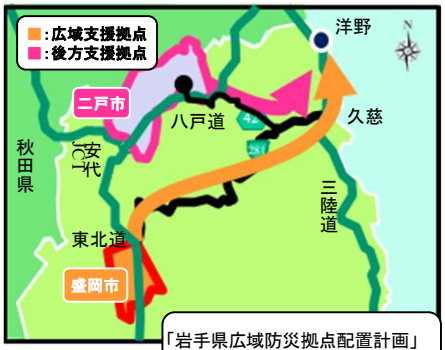




津波被害発生時の人、物資の流れ

二戸後方支援拠点 → 備蓄・支援物資供給活動 → 洋野消防署 洋野町役場
広域支援拠点 → 備蓄・支援物資供給活動 → 洋野消防署 洋野町役場
災害医療活動 → 洋野消防署 洋野町役場

※二戸後方支援拠点からの支援物資が不足した際、県央部の広域支援拠点から支援活動を行う



「岩手県広域防災拠点配置計画」（平成26年3月）により、二戸市を沿岸被災地の後方支援活動を行う拠点に位置づけ。物資が不足した場合及び、災害医療活動は県央部の広域支援拠点から支援活動を行う。

【令和8年度の事業内容】
調査設計、支障物移転、改良・橋梁工事を実施します。

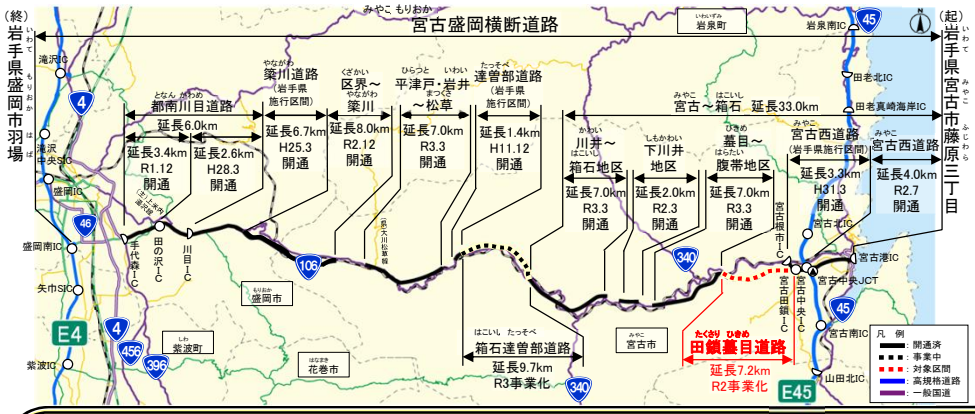
国道106号　田鎖蟇目道路

R8：1,570百万円

継続	岩手県宮古市田鎖～蟇目	道路	直轄

【事業の概要】

国道106号　田鎖蟇目道路は、宮古盛岡横断道路の一部を構成し、落石や土砂流出などの危険箇所を回避するとともに、災害時の通行止めによる広域迂回の解消を目的とする道路です。





▲田鎖蟇目道路の周辺状況

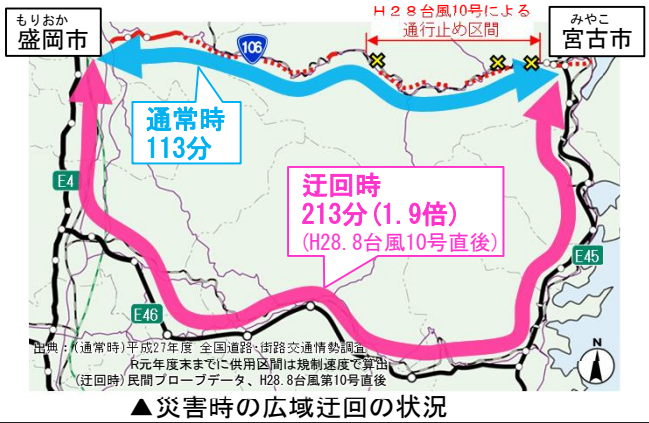
【整備効果】

○国道106号の落石や土砂流出などの危険箇所を回避し、災害時の救援活動等においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを確保します。

○三次救急医療施設へのアクセス性向上により、救急搬送などの救急医療活動を支援します。



▲国道106号の被災状況（平成28年8月台風10号災害）



▲災害時の広域迂回の状況



▲田鎖蟇目道路の整備状況

【令和8年度の事業内容】

調査設計、用地買収、支障物移転、改良・橋梁工事を実施します。

国道45号　神林地区電線共同溝

R8：327百万円

継続	岩手県宮古市藤の川～磯鶏一丁目	道路	直轄

神林地区電線共同溝は、無電柱化をすることで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。



出典：地理院地図に情報等を追記して掲載



▲国道45号の電柱状況

国道45号 岩手45号交通安全対策（高浜歩道・自転車通行空間整備）

R8：60百万円

新規	岩手県宮古市高浜	道路	直轄

当該箇所は、小中高校生の通学路であり自転車通学にも利用されているが、歩道や自転車通行空間が整備されていない区間もあり、非常に危険な状況となっているため、歩道や自転車の通行空間を整備し、通学生徒や沿線住民が安全・安心に通行できる空間の確保を行います。





▲歩道幅員狭小区間を登下校する児童

国道45号 岩手45号交通安全対策（力持交差点改良）		R8:60百万円	
新規	岩手県下閉伊郡普代村	道路	直轄

当該箇所は、下り坂のカーブ区間に位置する交差点であるため、走行車両からの見通しが悪く、右折待ちの車両に追突する危険があることから、新たに右折レーンを設置し、道路交通の安全確保を図ります。

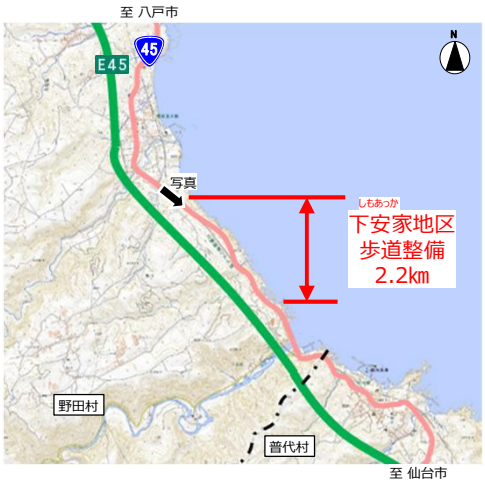




▲見通しが悪く後続車両からの追突の危険がある状況

国道45号 岩手45号交通安全対策（下安家地区歩道整備）		R8:210百万円	
継続	岩手県九戸郡野田村	道路	直轄

当該箇所は、高校生の通学にも利用されているが、歩道が整備されておらず、非常に危険な状況となっているため、新たに歩道を整備し、通学生徒や沿線住民が安全・安心に通行できる空間の確保を行います。





▲車道路肩を利用し通学する高校生

【その他】事務所の取り組み

【道路管理】 道路構造物の老朽化対策

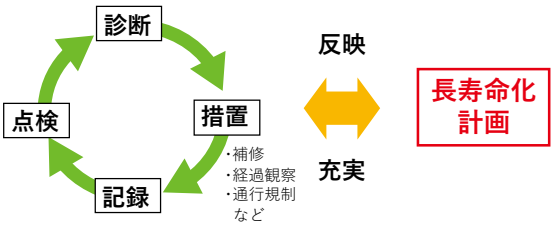
橋梁やトンネルなどの道路構造物は、建設後長期間を経過していることから、定期的な点検による健全度の把握と計画的な補修・補強を実施することで、構造物の長寿命化を推進します。

基本的な事項

- 予防的な保全を目指した維持管理
- 維持管理の頻度を定めた計画的な点検の実施
- 構造物の健全度を一定の尺度で診断
- 点検、診断、措置の記録作成など

メンテナンスサイクル

「点検⇒診断⇒措置⇒記録」の業務サイクルを通じて、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築



5年に1回の点検に基づく長寿命化の取り組み

繰り返し

5年に1回の点検による健全度の把握、対策の要否を診断

↓

長寿命化計画の策定

↓

予算の確保

↓

予防的な修繕等の実施



▲橋梁点検（点検支援技術）



▲トンネル点検（近接目視・打音検査）

【道路管理】 修繕・除雪

道路空間を良好に保ち、道路を快適で安全・安心に利用出来るよう努めていきます。



舗装修繕



拡幅除雪

【交通安全】正面衝突事故防止対策

三陸沿岸道路では、重大事故につながりやすい正面衝突事故を防ぐため、ワイヤロープ式防護柵の整備を進め、安全・安心に通行できる空間の確保を行います。



整備前



整備後